NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

2015年度 国内情報セキュリティ市場調査 速報（公開用資料）

JNSA調査研究部会
セキュリティ市場調査WG

2016年3月2日

JNSA市場調査の概要

JNSA独自の調査活動

変遷:
•2004年から継続
•2009年まではMETIの委託事業・・・グローバル調査が入り継続を断念
•2010年度から独自調査
•今回調査で12年13回目の調査・・・委託調査よりも独自調査の期間が長くなった

目的:

JNSA会員の、会員による、会員のための
国内情報セキュリティ市場調査!

•セキュリティ市場とセキュリティ産業の姿を継続的に捉える
•調査結果をJNSA会員企業のそれぞれの事業に役立ててもらう
•WGメンバーが活動を通じ、交流し、調査の手法を学び、知見を広げる

Copyright © 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

2015年度調査報告書作成メンバー

- ワーキンググループリーダ

木城　武康	株式会社日立システムズ

- ワーキンググループメンバ

菅野　泰彦	アルプスシステムインテグレーション株式会社
浜　　義晃	株式会社イーセクター
兵藤　直嗣	株式会社イーセクター
福岡　かよ子	株式会社インテック
増田　聖一	三井物産セキュアディレクション株式会社
勝見　勉	オブザーバー
蜂巣　悌史	サブスクライバー
森田　翔	サブスクライバー

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

セキュリティ市場調査WG

JNSA

■年間活動スケジュール（年間の流れ）■　十月1回のWG

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月

↑ JNSA総会　活動内容の発表

合宿

2015年度報告書発表

速報値発表

市場定義区分～JNSA内共有

東京商エリサーチ
売上データ入手

資料作成

資料作成

速報値集計

調査対象企業のリストアップ
→　各企業の製品群調査

トピックス執筆依頼

再集計・調査本文執筆
JNSA市場調査報告書完成

WGメンバー
会員提供情報による修正

公開準備完了　5月末

調査方針 市場定義、課題検討	年度実績 データ集計	1次集計	集計見直し	年次報告

Copyright © 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

調査の手法

JNSA

過去10年間の
調査の蓄積

＋

新規参入･撤退
などの変化

個社別、売上データの購入

推定値

主要個社検討

報告書の作成

今年度の調査（速報レベル）：

- **調査活動期間：**　2015年6月～2016年1月末
- **調査方法：調査対象企業の母数確定**（本年度対象数：**571社**）
  調査会社より売上データ入手、製品分類・業種分類
  統計データ参照、WGメンバによる実績確認
- **対象期間：** **2013年度、2014年度：　実績推定値**
  2015年度：　見込推定値、
  2016年度：　予測値

Copyright © 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

市場区分の定義

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理･アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー･アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール　等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルテーション	ポリシー構築、監査･診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援　等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス（ITセキュリティの監視、運用支援）、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス　等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定　等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

Copyright © 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

業態区分の定義

A：海外メーカまたはその日本法人
B：国内のセキュリティツールメーカ
C：販売店・商社等主として流通機能の企業
D：SI・NI※機能を有する二次・三次販売店
E：SIが主たる付加価値の大手システムインテグレータ
F：コンサルティング企業
G：セキュリティサービス提供事業者
H：その他

※NI：Network Integration, ネットワーク構築

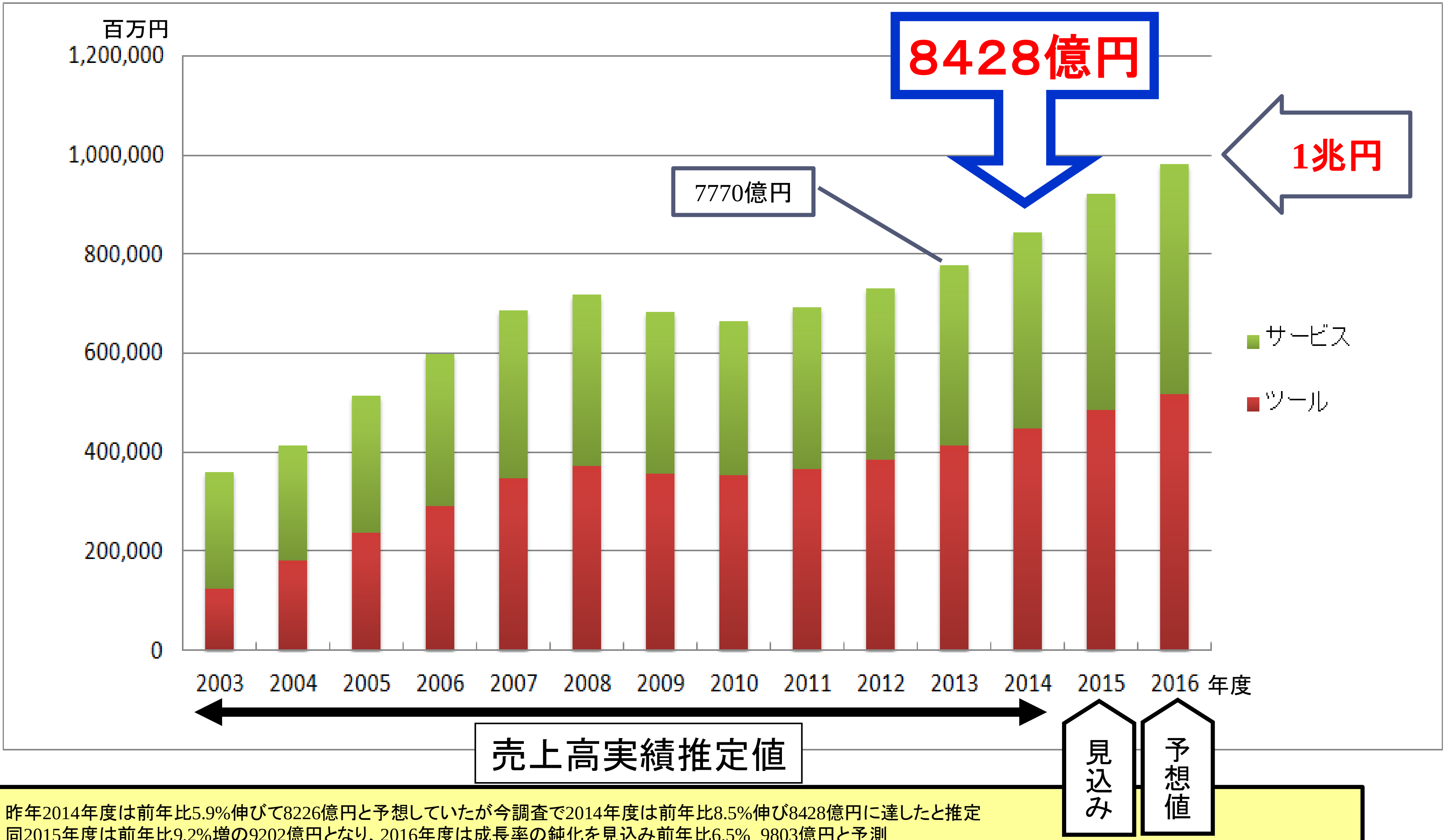
Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

集計方法 （今回速報値の時点）

571社の売上データ（調査会社より入手） ※昨年507社
↓
無効・データ無しの除外・別調査 （497社） ※昨年463社
↓
個社別　　セキュリティ従事比率
↓
個社別　　ツール：サービス比率
↓
個社別　　各製品（市場区分）に細分化
↓
全体集計　　業態区分を基にした調整
↓
補正　　2015年度は10項目の補正（主に2重売上の消込）
↓
整合性確認　　公開されている統計データ等との比較・確認

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

JNSAの情報セキュリティ市場調査推移



昨年2014年度は前年比5.9%伸びて8226億円と予想していたが今調査で2014年度は前年比8.5%伸び8428億円に達したと推定
同2015年度は前年比9.2%増の9202億円となり、2016年度は成長率の鈍化を見込み前年比6.5%　9803億円と予測
2015年度・2016年度に現在の予測よりも積極的なセキュリティ投資が進む場合は、2016年度の市場規模は1兆円に達する可能性もある。

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

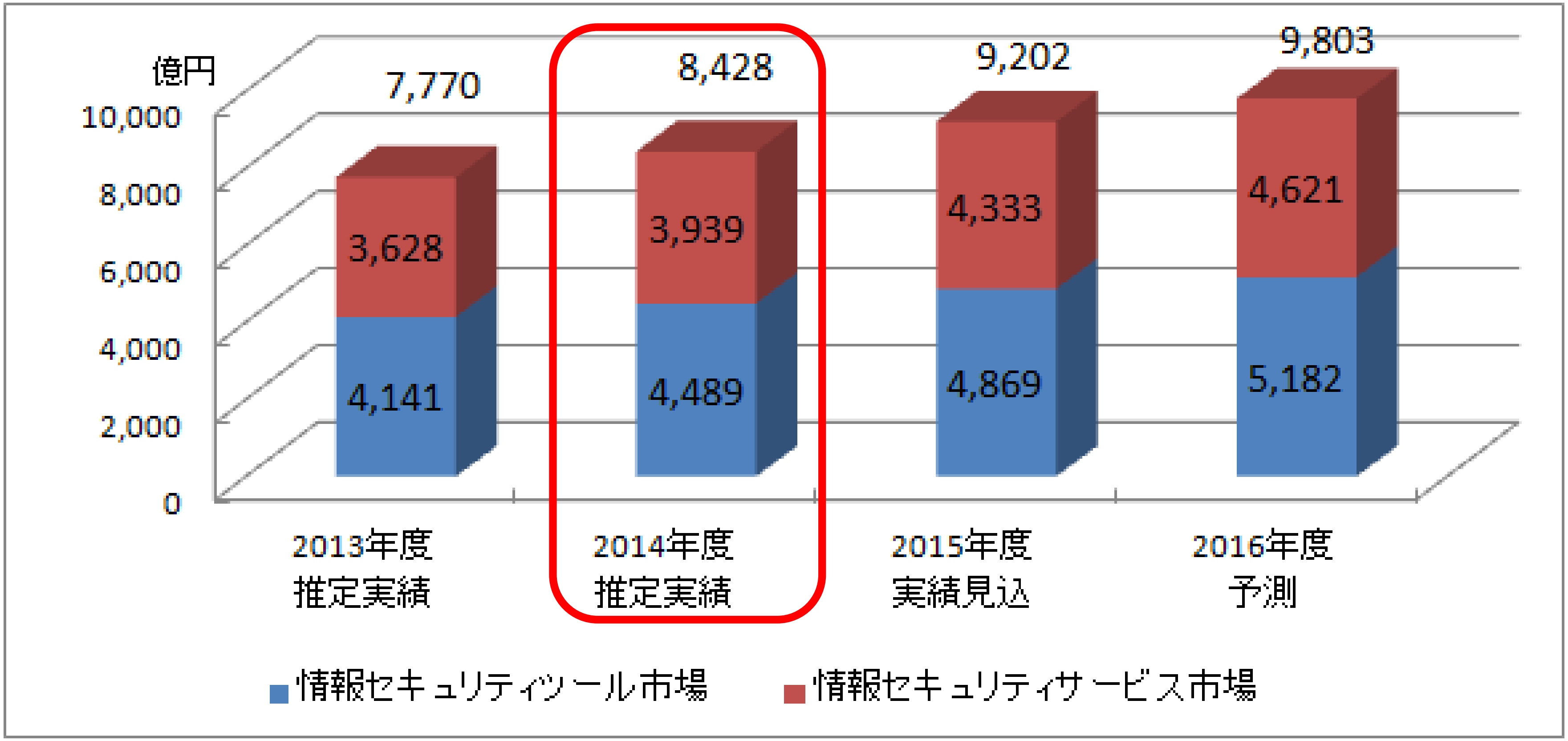
国内情報セキュリティ市場規模の暫定値

JNSA

2014年度市場調査 年度別総計表	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度		
	売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値			売上高予測値		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
統合型アプライアンス	21,449	5.2%	6.6%	23,622	5.3%	10.1%	25,511	5.2%	8.0%	27,297	5.3%	7.0%
ネットワーク脅威対策製品	54,482	13.2%	4.5%	61,776	13.8%	13.4%	66,718	13.7%	8.0%	71,388	13.8%	7.0%
コンテンツセキュリティ対策製品	158,234	38.2%	7.6%	171,192	38.1%	8.2%	185,377	38.1%	8.3%	196,091	37.8%	5.8%
アイデンティティ・アクセス管理製品	73,727	17.8%	7.1%	77,220	17.2%	4.7%	82,112	16.9%	6.3%	87,934	17.0%	7.1%
システムセキュリティ管理製品	60,468	14.6%	9.7%	66,288	14.8%	9.6%	75,402	15.5%	13.8%	81,108	15.7%	7.6%
暗号化製品	45,779	11.1%	9.8%	48,844	10.9%	6.7%	51,774	10.6%	6.0%	54,363	10.5%	5.0%
セキュリティツール製品	414,139	53.3%	7.6%	448,941	53.3%	8.4%	486,895	52.9%	8.5%	518,181	52.9%	6.4%
情報セキュリティコンサルテーション	72,731	20.0%	3.7%	71,452	18.1%	-1.8%	75,778	17.5%	6.1%	79,567	17.2%	5.0%
セキュアシステム構築サービス	144,875	39.9%	4.3%	156,356	39.7%	7.9%	171,992	39.7%	10.0%	180,592	39.1%	5.0%
セキュリティ運用・管理サービス	109,379	30.1%	6.0%	125,248	31.8%	14.5%	138,348	31.9%	10.5%	149,419	32.3%	8.0%
情報セキュリティ教育	26,979	7.4%	1.5%	30,365	7.7%	12.6%	33,603	7.8%	10.7%	36,871	8.0%	9.7%
情報セキュリティ保険	8,885	2.4%	16.3%	10,479	2.7%	17.9%	13,623	3.1%	30.0%	15,667	3.4%	15.0%
情報セキュリティサービス	362,849	46.7%	4.7%	393,901	46.7%	8.6%	433,345	47.1%	10.0%	462,115	47.1%	6.6%
セキュリティツール+サービス	776,988		6.2%	842,841		8.5%	920,240		9.2%	980,296		6.5%

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

国内情報セキュリティ市場規模の暫定値



情報セキュリティ市場の2014年度の推定実績値は、全体で前年比8.5%伸びとなり、8,428億円
うち　ツールが53.3%で　4,489億円、　サービスが46.7%　3,939億円　と推定

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

ツール全体

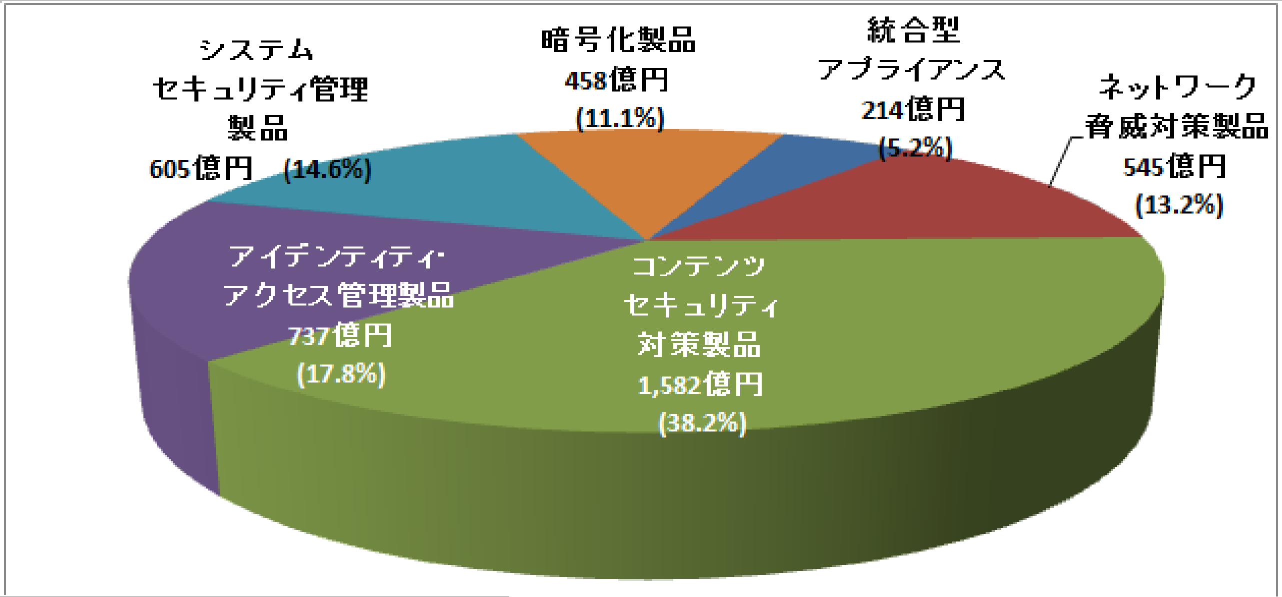
国内情報セキュリティツール市場推移

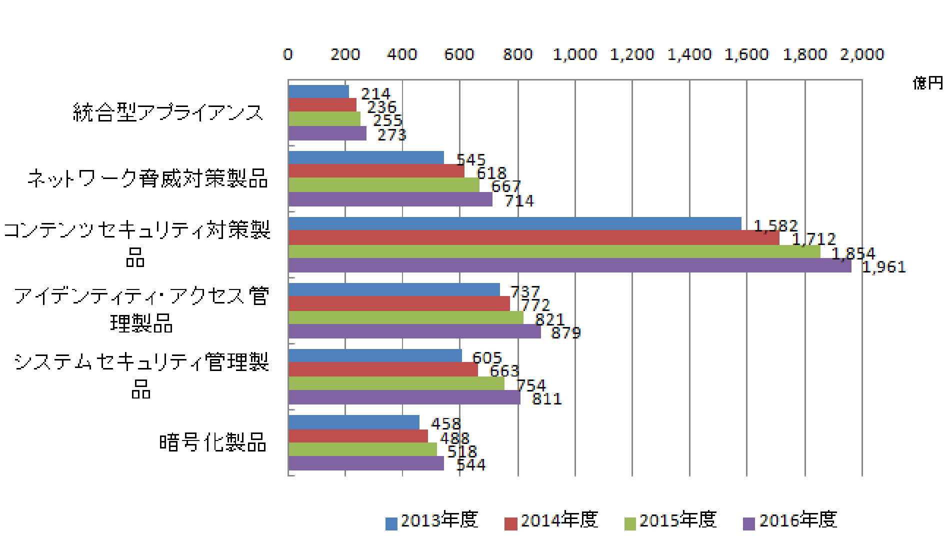
2014年

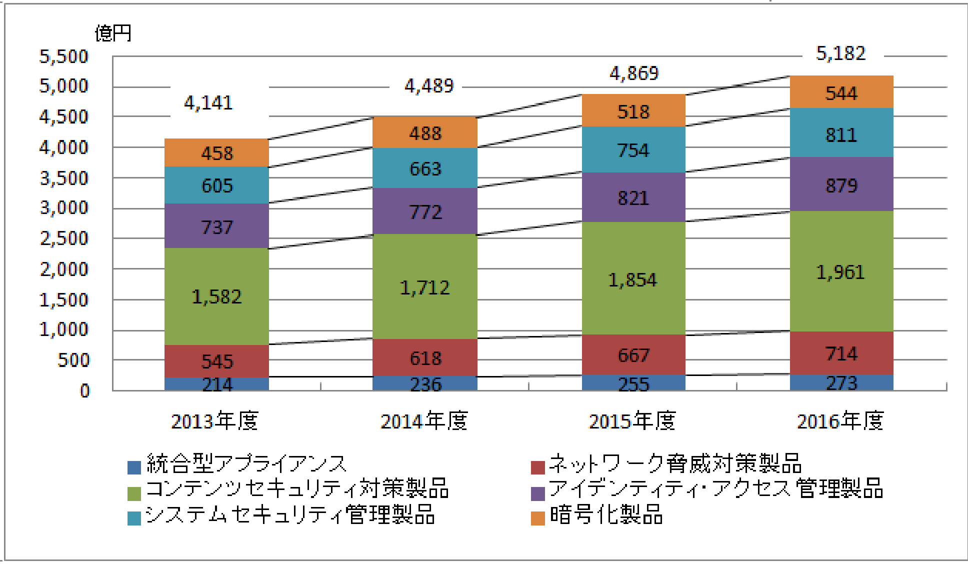
4489億円

2013年

4141億円



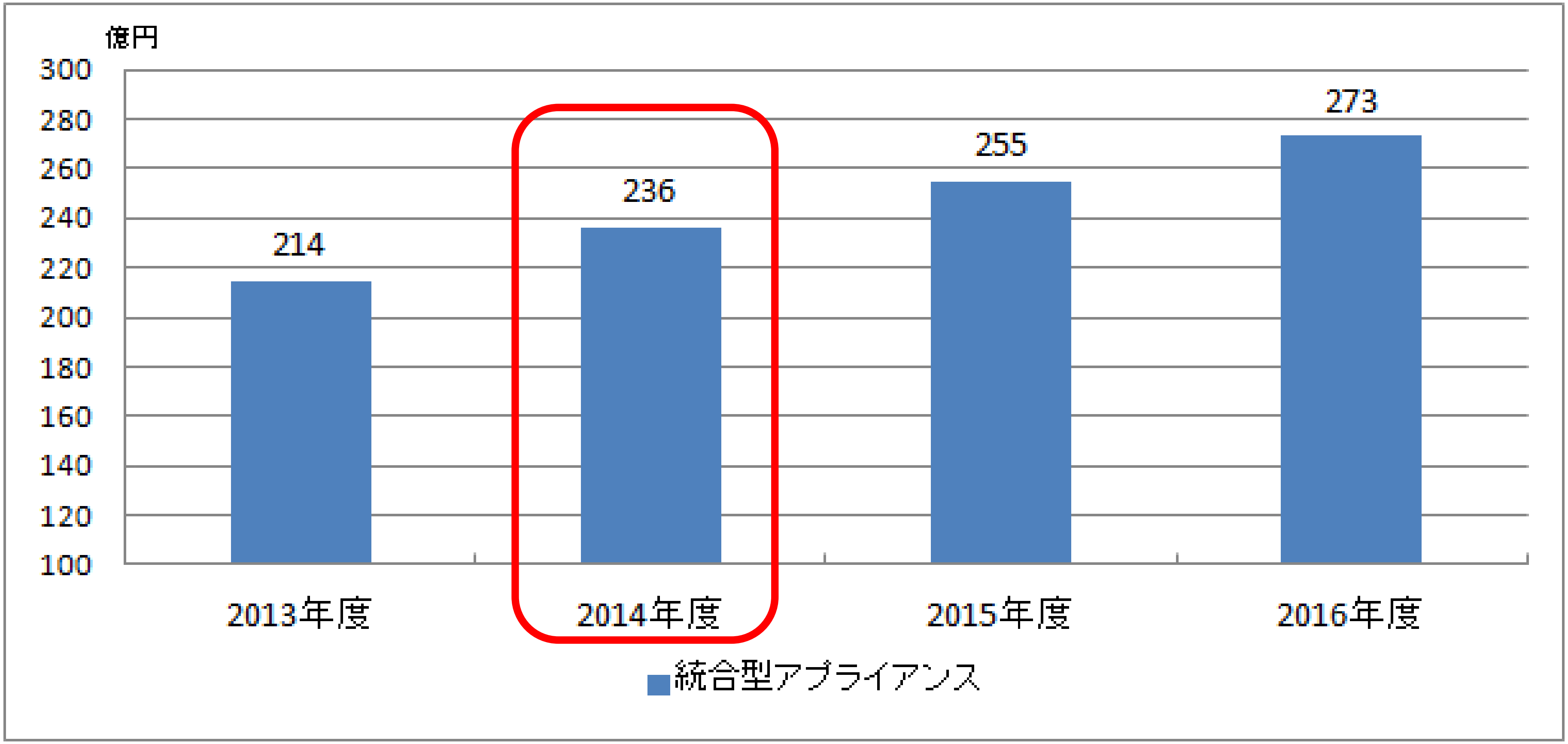




ネットワーク脅威対策製品（前年比13.4%増）、コンテンツセキュリティ対策製品（同8.2%増）の伸びが顕著

ツール

統合型アプライアンス



- いわゆるUTM製品が中心となるこのカテゴリは、普及もかなり進み、成熟しつつある市場
- 攻撃手法の多様化により、サンドボックスエミュレーション技術などを使った非シグネチャ型マルウェア対策アプライアンス製品への需要も高まっていると推測される
- また更新・増強等の需要が見られ、結果的に10%の伸びを示している
- 2015年以降も地方・中小企業を中心に簡便なセキュリティ対策需要が高いと予想されることから、統合型アプライアンスの市場が伸びると推測される

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

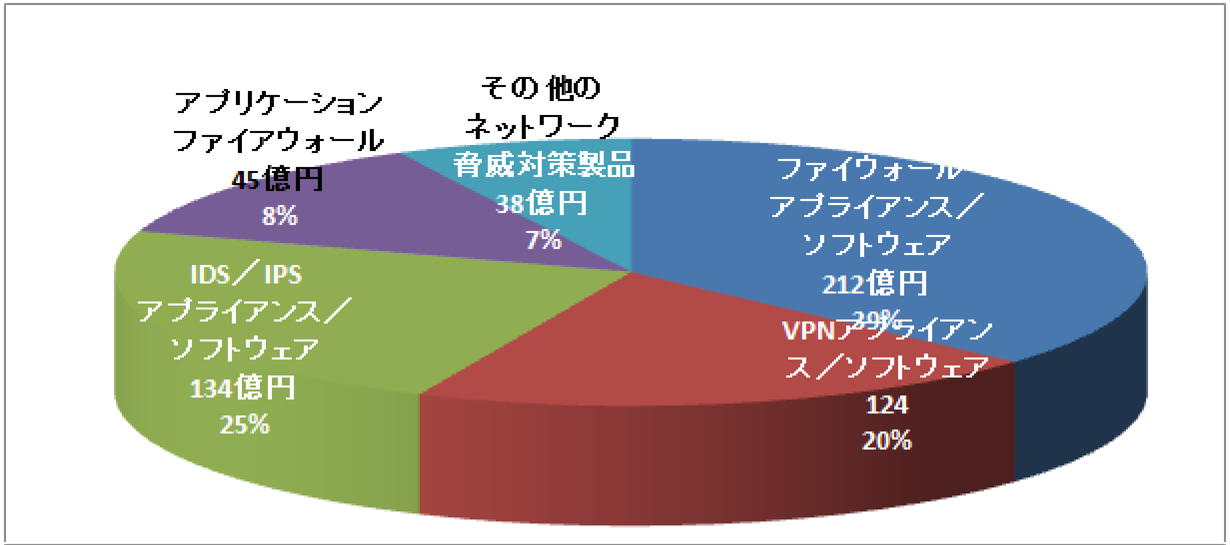
ツール

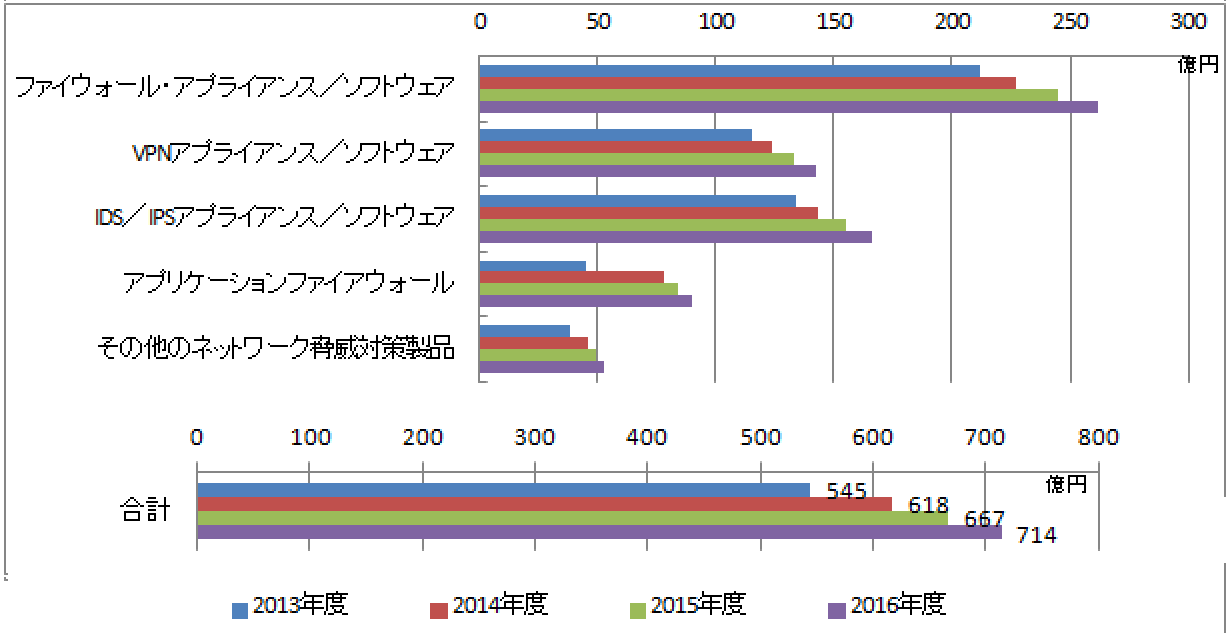
ネットワーク脅威対策製品

JNSA

2014年
618億円

2013年
545億円





- 2014年度のネットワーク脅威対策製品全体では13.4%伸びて618億円
- Web改ざんやマルウェアの仕込み（水のみ場攻撃等）の脅威対策としてアプリケーションFWの伸びが顕著

2016.02.02.

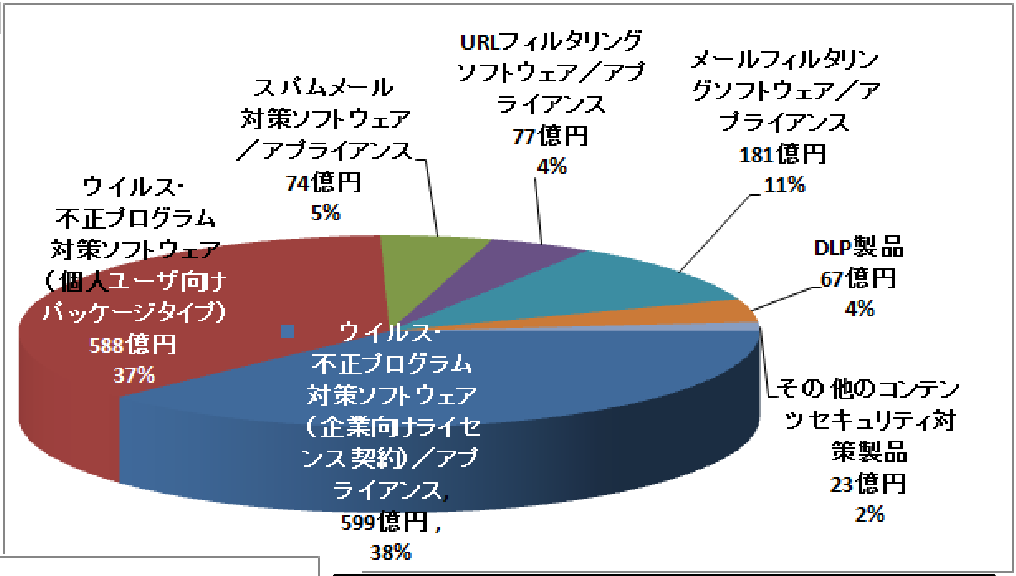
ツール

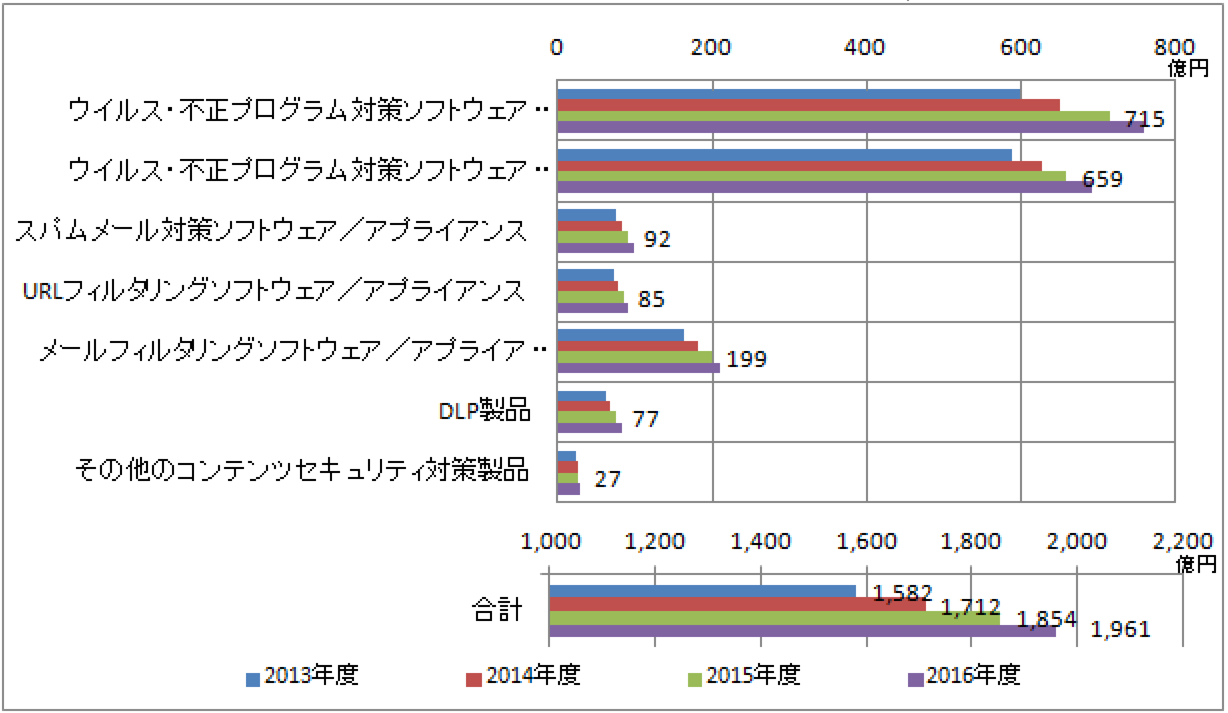
コンテンツセキュリティ対策製品

JNSA

2014年
1712億円

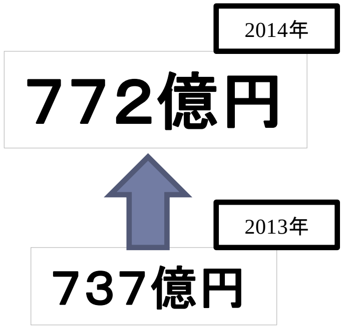
2013年
1582億円

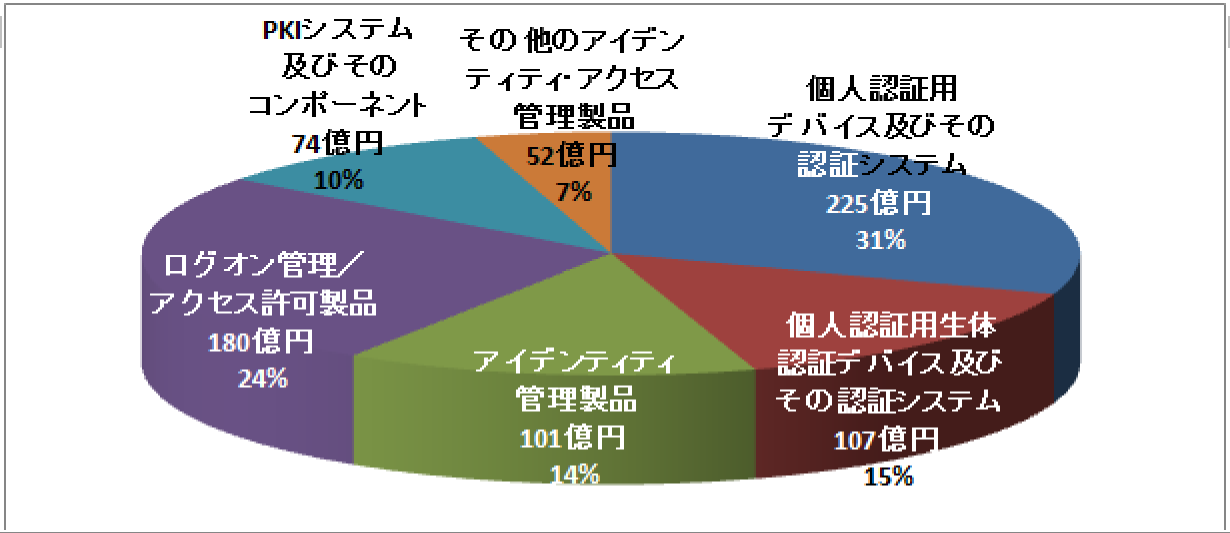


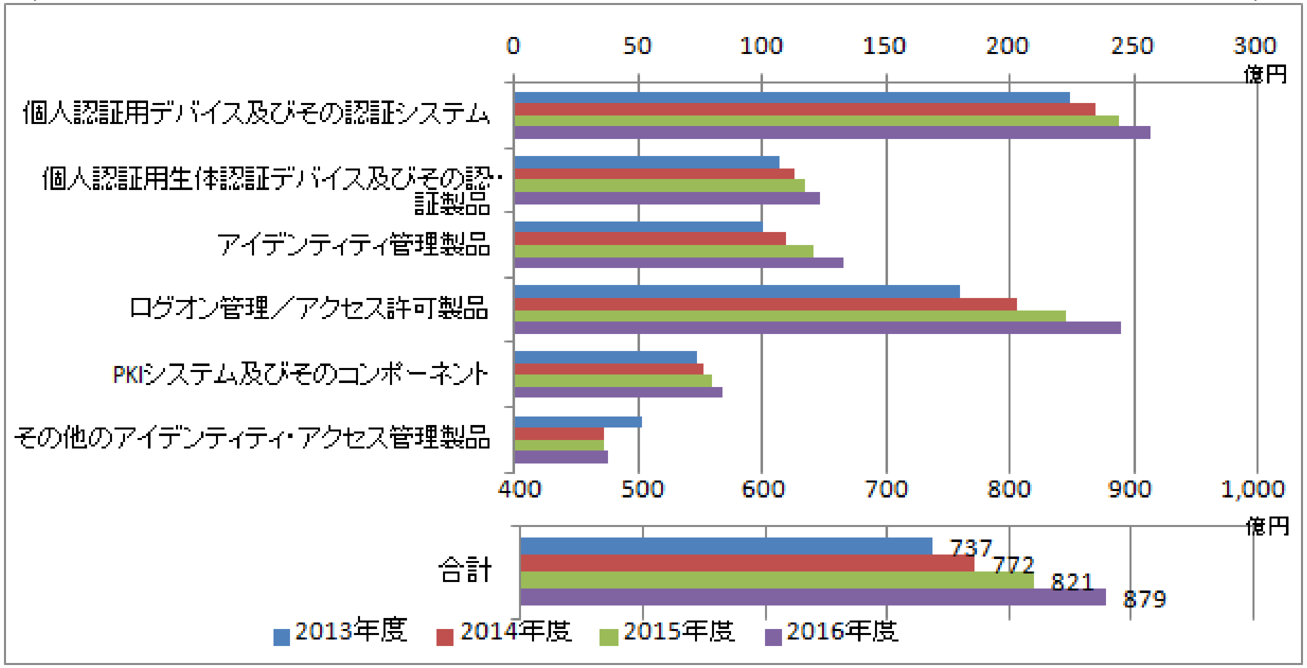


- ウイルス対策ツールは、法人向けと個人向けが各々610億円前後と大きな市場を形成
- 標的方攻撃に対応するため、スパムメール対策、メールフィルタリングが共に10%を超える伸び率となっている
- 更新等による安定した需要に加え、スマートデバイス市場の伸び、マルウェア等の増加が予想されることから、全体として2015,2016年度も高い水準での伸びが期待できる

アイデンティティ・アクセス管理製品







- 2014年度のアイデンティティ・アクセス管理製品全体では4.7%伸びて772億円
- 2014年に注目された大規模な内部情報漏えい事件が企業内のアクセス管理強化に結びついた模様
- 今後は、マイナンバーの施行に伴う増加も推測される

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

ツール

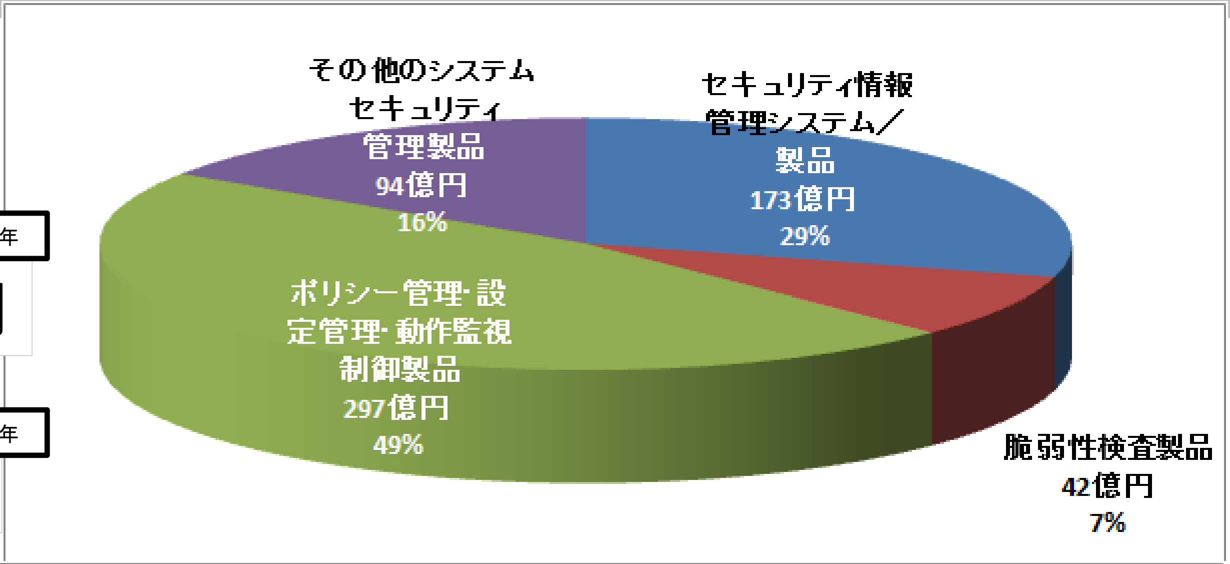
システムセキュリティ管理製品

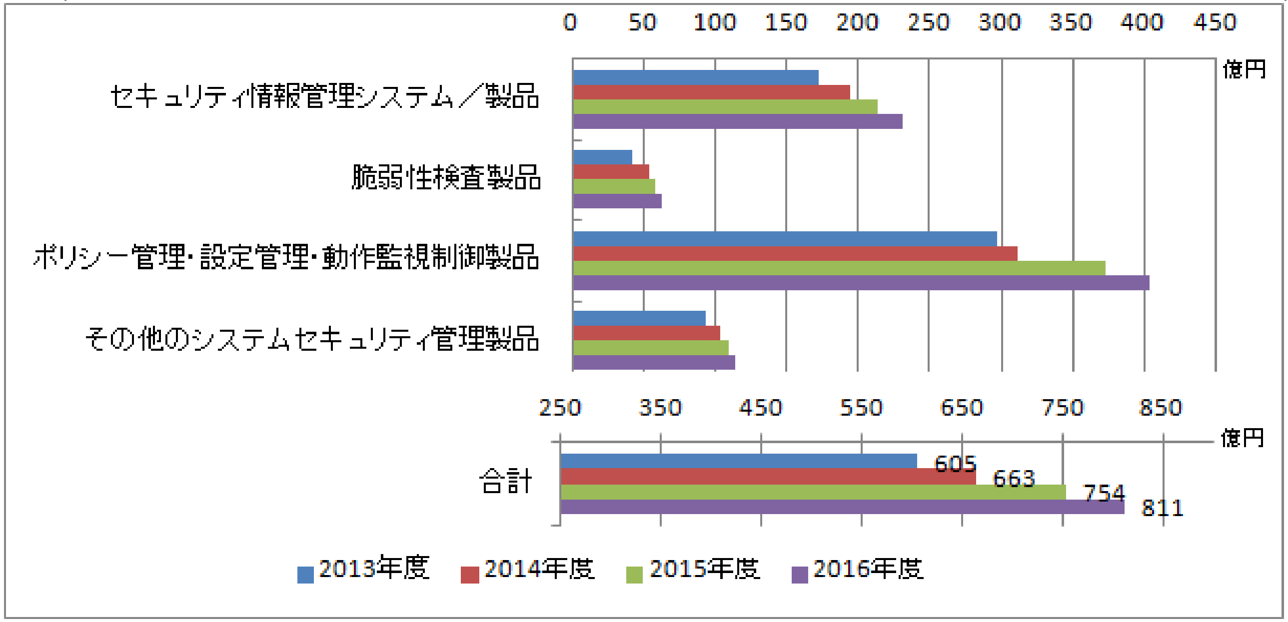
2014年

663億円

2013年

605億円



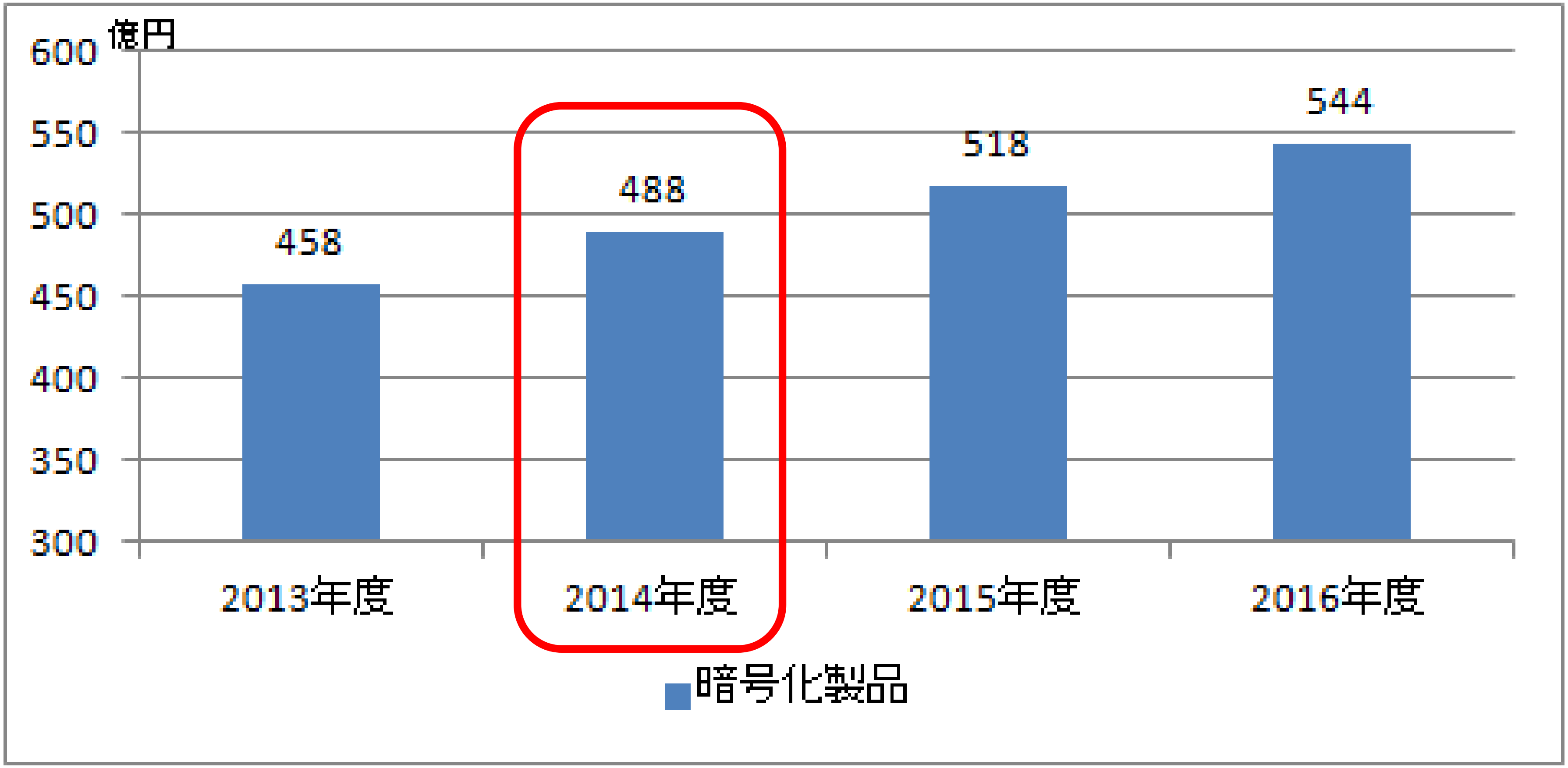


- 前年度に対して9.6%の高い伸びを示し、2014年度は663億円の規模となったと推測する
- 標的型攻撃への対策として、内部ネットワークトラフィックの異常を常時監視する「セキュリティ情報管理システム」の需要が大きい
- 端末のポリシーや動作を監視・管理する「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」はモバイルデバイス対策もあって需要が拡大

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

ツール

暗号化製品



- 前年度に対して、6.7%増の488億円
- クラウドの利用浸透も需要拡大要因と予想
- 情報漏えい対策、知的財産保護対策、標的型攻撃の出口対策も、需要を押し上げる要素

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

サービス全体

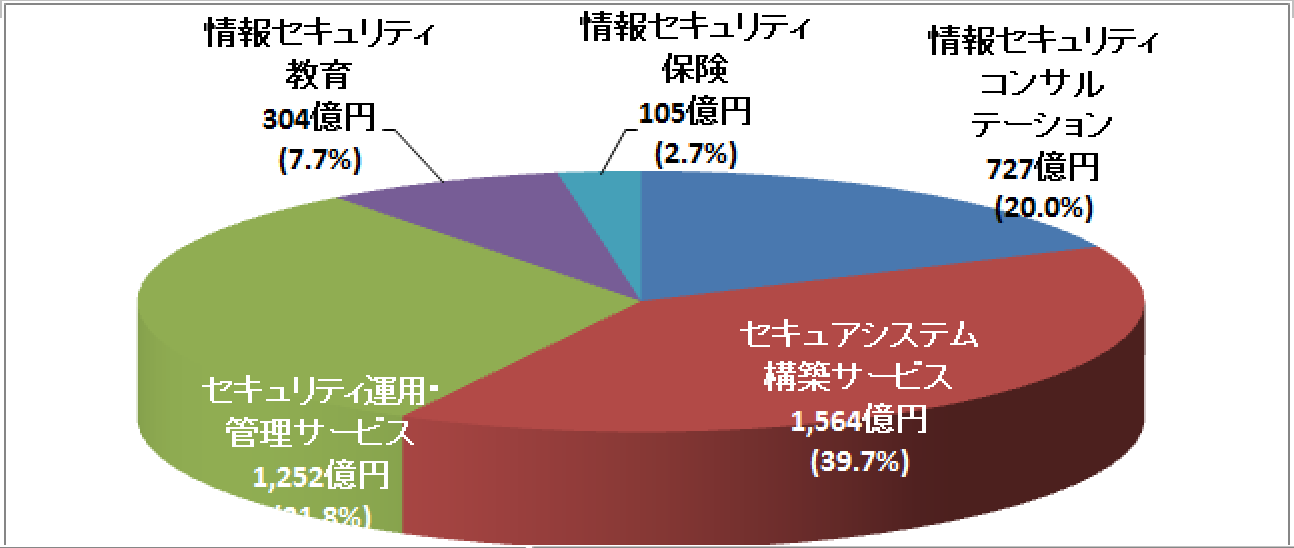
情報セキュリティサービス市場推移

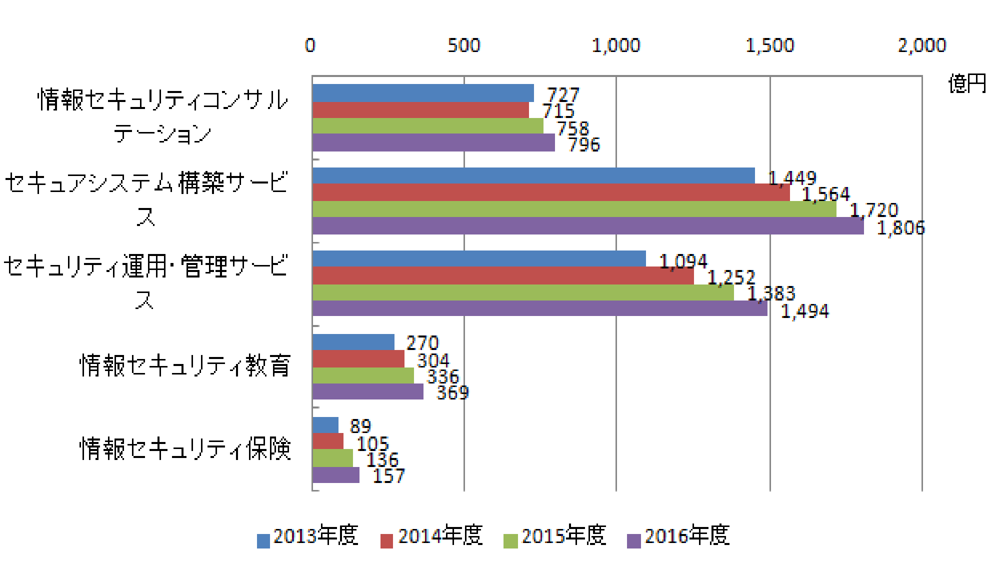
2014年

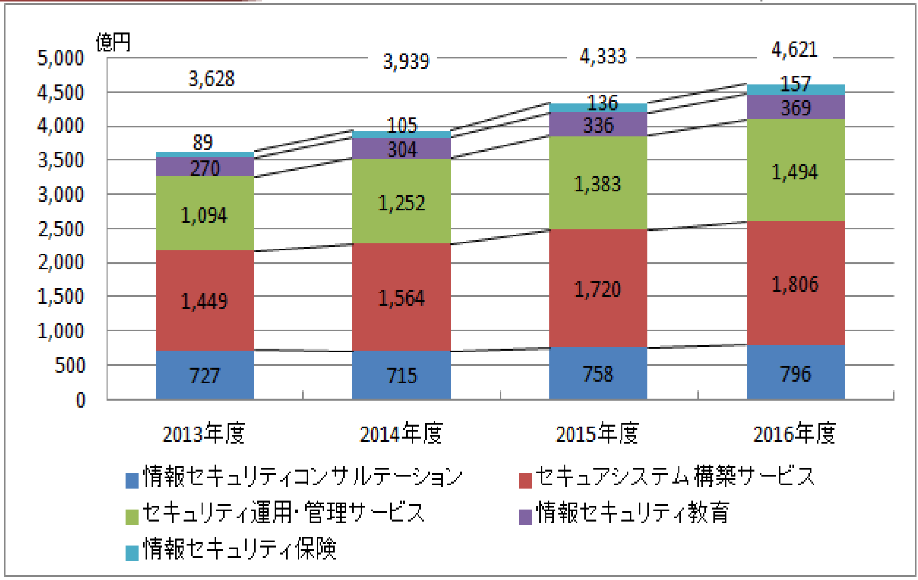
3939億円

2013年

3628億円





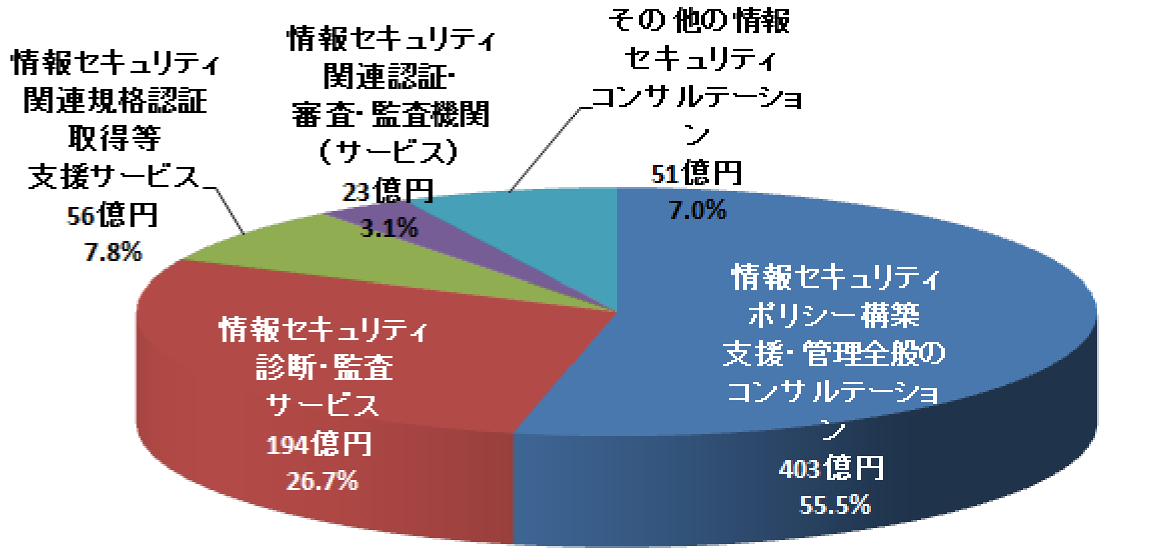


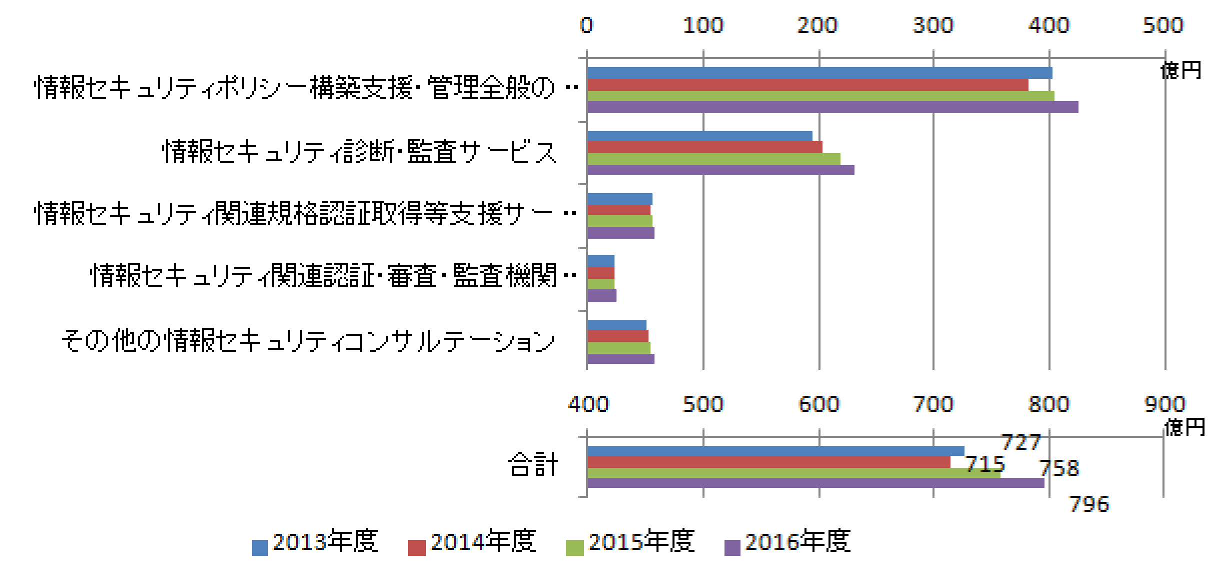
- サービス全体で、前年から8.6%伸び3,939億円
- 標的型攻撃対策、統合ログ管理などの需要増もあり、セキュリティ運用・管理サービスが前年度比14.5%増と高い伸び

情報セキュリティコンサルテーション

2014年
715億円

2013年
727億円





- 前年度比1.8%減で、715億円
- 2015年以降は、企業内のCSIRT・SOC等の導入支援に対するコンサルテーションの需要が伸びると予想
- 従来のセキュリティ対策に対する見直し需要から、診断が堅調

Copyright © 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

サービス

セキュアシステム構築サービス

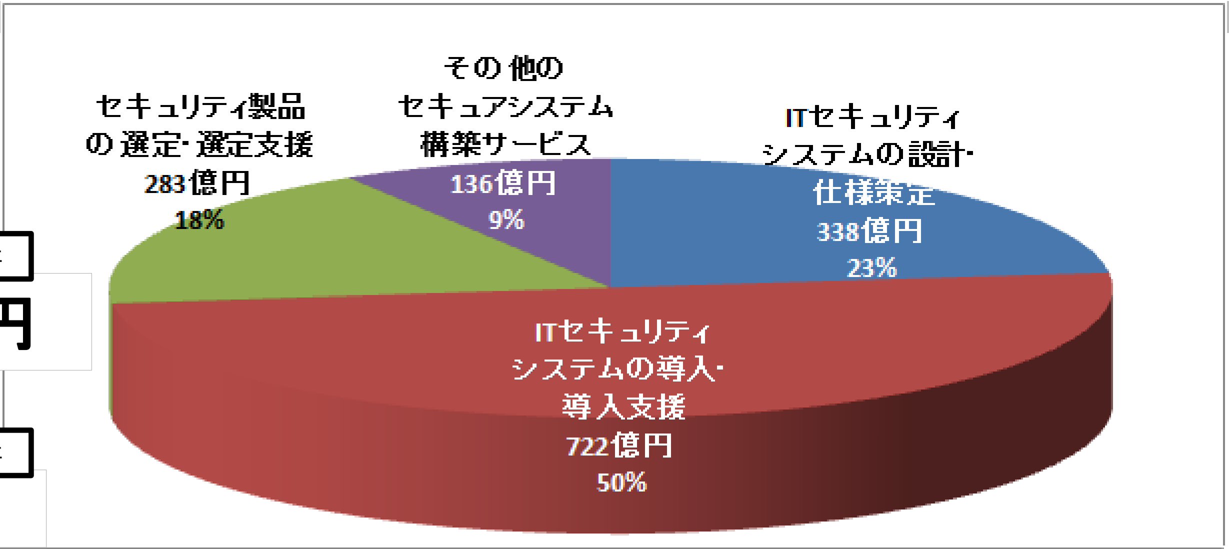
JNSA

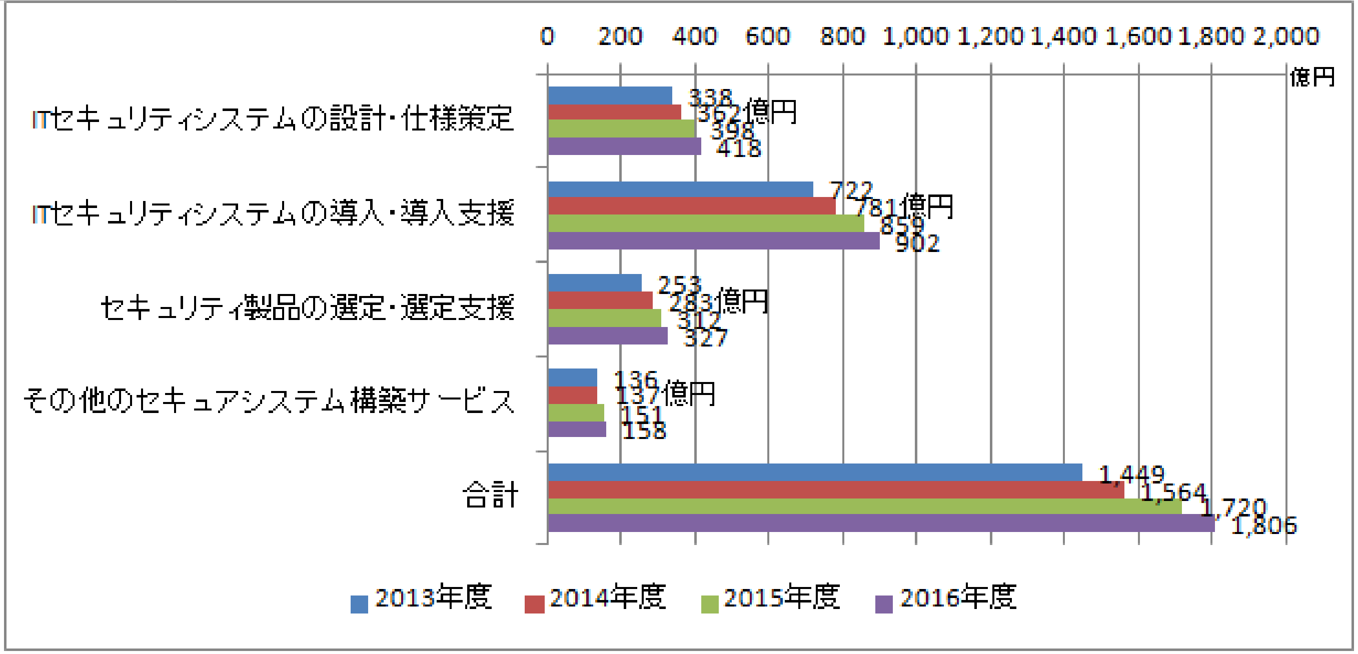
2014年

1564億円

2013年

1449億円





- 2014年度は全体で前年度比7.9%増の1,564億円
- 2015年度は、さらに伸び1,700億円台に到達すると予想
- サイバー脅威の対策強化のためのシステム再構築や、企業向けモバイル情報管理の需要も高まって、より高度なSI構築ニーズが当該市場の拡大を牽引

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

サービス

セキュリティ運用・管理サービス

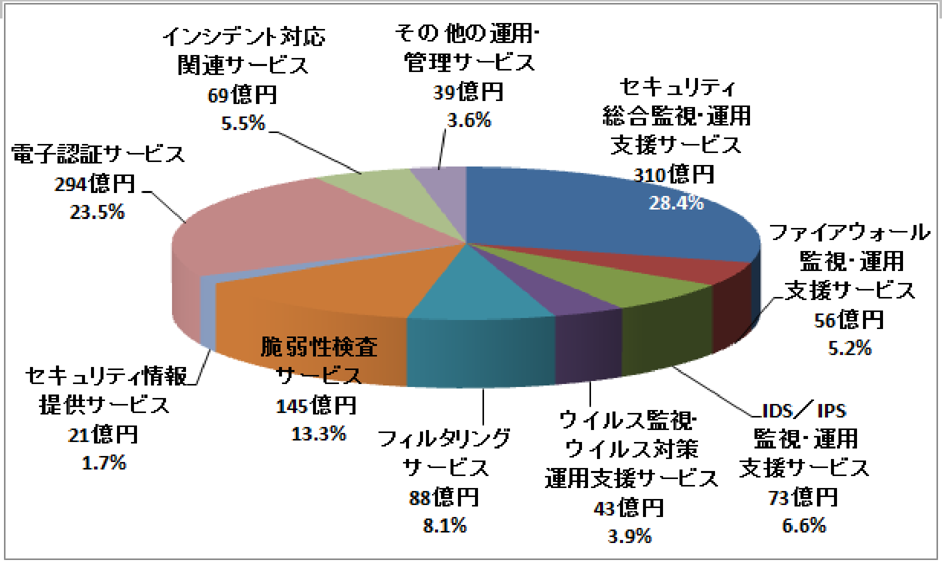
JNSA

2014年

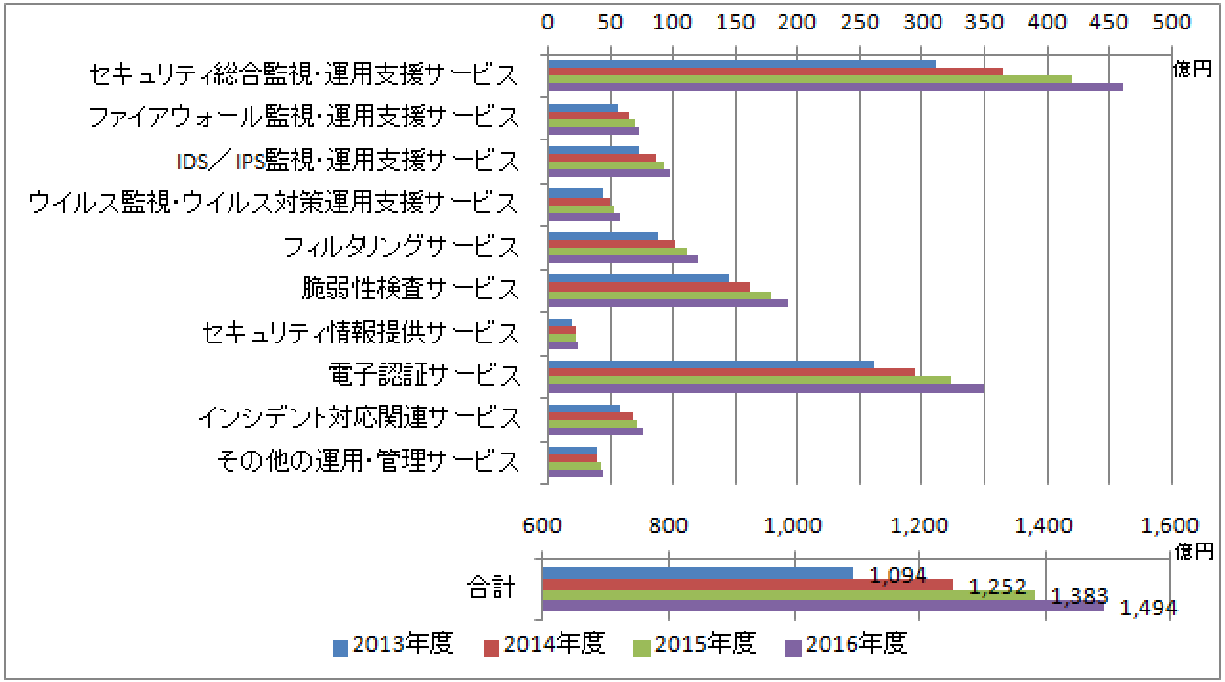
1252億円

2013年

1094億円



- 前年度に対して14.5%増の1,252億円
- サービス市場の中で最も高い伸び率を示している。中でもセキュリティ統合監視・運用支援サービスは、サイバー攻撃対策需要などより堅調な伸びが期待される
- 脅威の特定・事故解析のためのインテリジェンスおよびアナリティクスの需要が今後高まる可能性



サービス

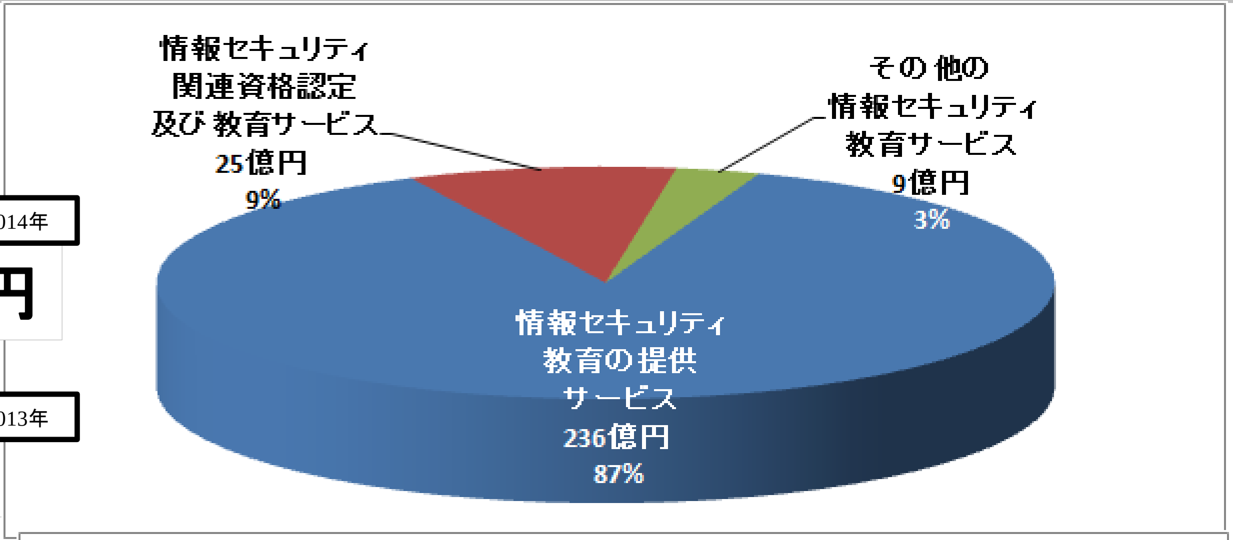
情報セキュリティ教育

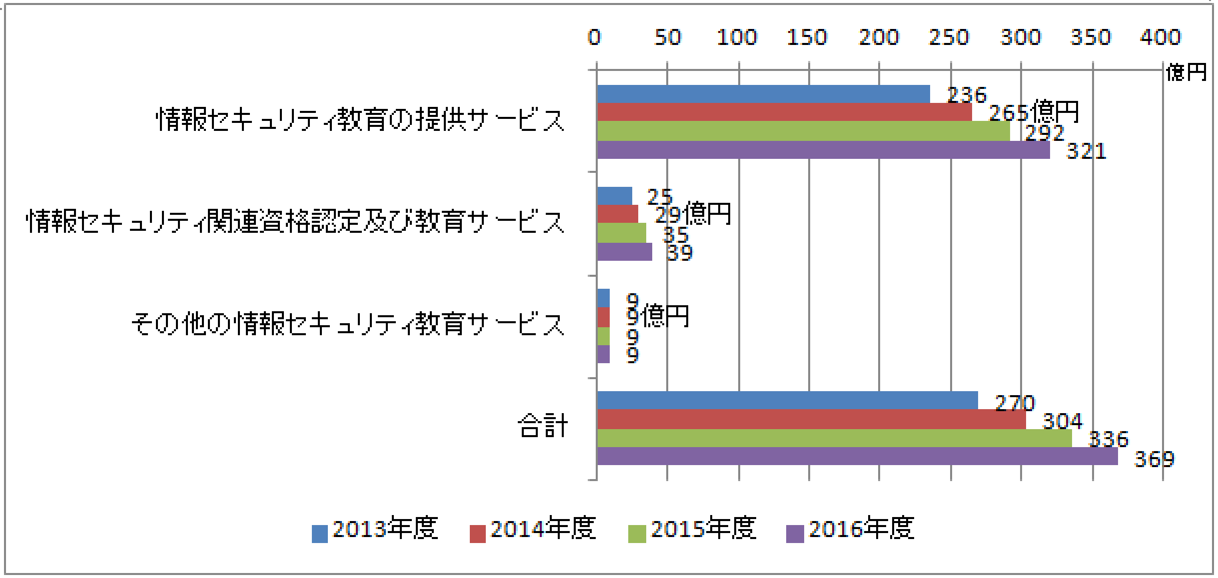
2014年

304億円

2013年

270億円





- 2013年度比　12.6%増
- 情報漏洩対策、標的型攻撃対策、スマートデバイス・BYOD対策、異業種の交流など、セキュリティに関する教育の需要が拡大
- 政府が情報セキュリティ人材育成に注力しだしたことも追い風

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

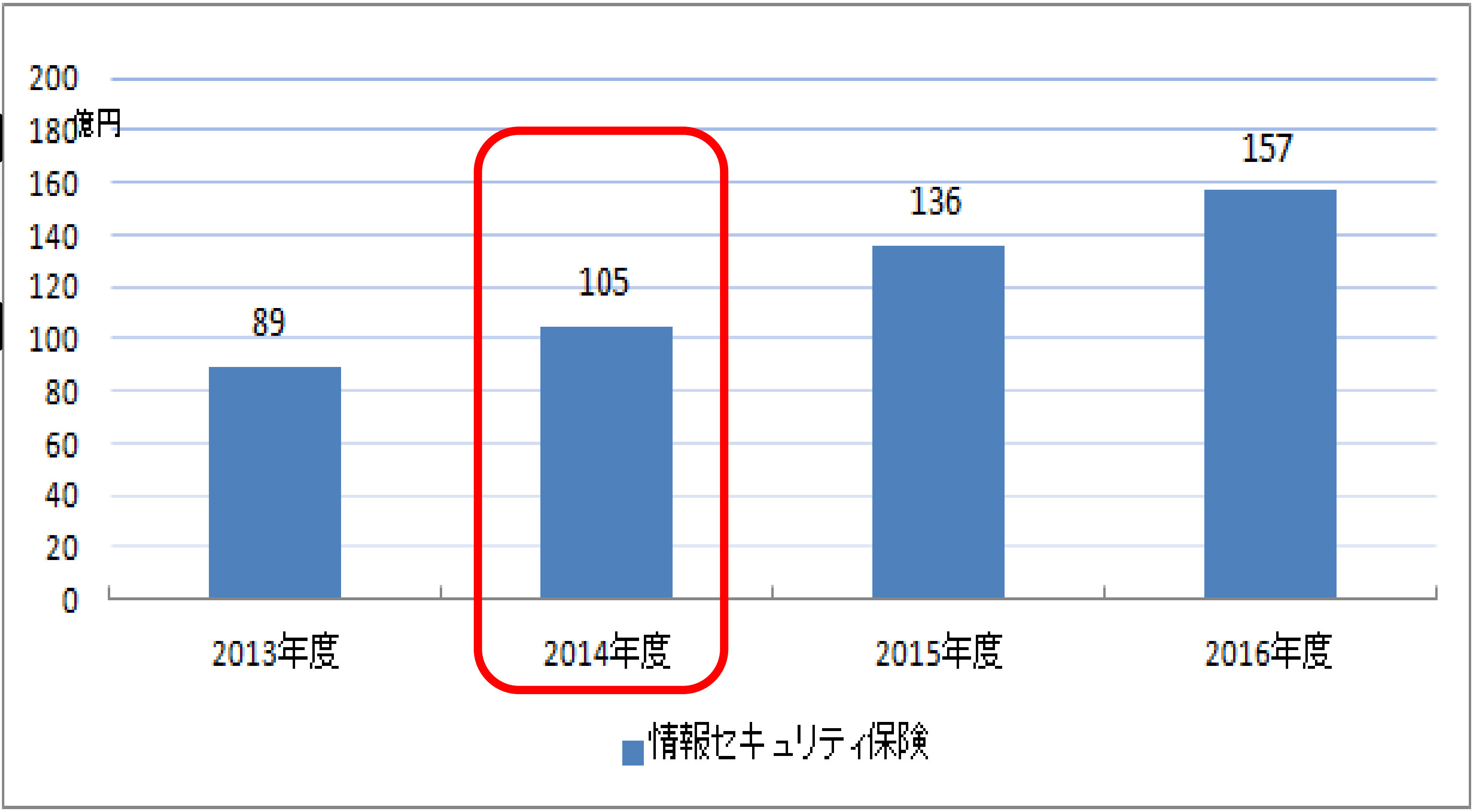
サービス

情報セキュリティ保険

JNSA

2014年
105億円

2013年
76億円



- 情報セキュリティ保険は、2014年で100億円に到達したと推測
- 情報セ キュリティ事件・事故に対する経営リスクとしての認識が浸透してきて需要が拡大
- マイナンバー制度に対応した保険商品も増えていることから、今後も堅調に推移する模様

Copyright Ⓒ 2003-2016 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

報告書（正式版）

2016年6月末　完成予定

JNSA

はじめに
【第一部　情報セキュリティ市場調査結果】
第1章　国内情報セキュリティ市場の実態概要
第2章　国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析
　　　　各市場の調査結果　←今回の速報値の見直し等を反映
第3章　情報セキュリティにおける新しい課題と動き
　　　　トピックスを執筆依頼
【第二部　情報セキュリティ市場調査の事業概要と結果に関する考察結果】
第4章　調査の概要
第5章　情報セキュリティ市場の分類および定義
第6章　情報セキュリティ市場参入事業者の業態と産業構造
第7章　情報セキュリティ市場および産業の状況と、変化をもたらす要因
7.1.　マクロ経済指標と企業経営環境等に関する統計データ
7.2.　企業・組織のIT支出ビヘイビア
7.3.　情報セキュリティに関わる外部環境変化
7.4.　産業としての課題
おわりに

Copyright Ⓒ 2003-2016　NPO日本ネットワークセキュリティ協会

2016年 3月2日

JNSA2015年度

セキュリティ市場調査報告書（速報）公開資料

http://www.jnsa.org
sec@jnsa.org

END